



10月の園だより

令和6年10月1日

目黒区立八雲保育園 園長

～伝え続ける「食」への思い～

朝、夕の風に季節の移り変わりを感じる季節になりました。

先日、5歳児クラスの子どもたちが育てた米の稲刈りをしました。「春に植えた時はこんなに（自分の膝より下を指して）下だったのに、すごく大きくなったね」と背丈くらいある稲を嬉しそうに見ながら満足そうです。用務職員が稲刈りの仕方を教えてくれると早速田んぼに入って行きます。「ん、硬いね」「見てみて、こんなに（一度に）とれたよ」と所々で悪戦苦闘することさえも楽し気に、次々と刈っては運んでいました。途中で4歳児クラスの子どもたちが「しろくま組さんが何か始めたよ」と興味津々で覗きに来ると、刈ったばかりの稲を「触ってみる、いいよ」と順番に持たせてくれました。「うわぁ、すごく重たいね」と驚く年下の友達に「この中に入っているの分かる、お米なんだよ」と話す子どもたちからは、自分たちで長い間育てた米への大切な思いが伝わるようでした。一つも残すことなく刈り終わると「用務さん、ありがとうございました」と、猛暑の日も台風の日も欠かさず一番近くで稲を見守り続けてくれたことに感謝の気持ちを伝えていました。「痛いと思ったら、手にこんなの（マメ）ができた」「お米で何しようか」「おにぎりにしたい」「栗ご飯がいい」「調理の先生に相談しないと」と一番に楽しみにしている話はそのあとも続きました。「米作り」は保育園で一番大きい5歳児クラスの子どもたちが毎年行っています。5月のしろかきから田植えに始まり、暑い夏の水やりや藻取り、秋の稲刈りから脱穀まで長い期間をかけて体験する「食」への思いと、関わってくれるたくさんの人へ感謝の気持ちをこれからも大切に伝えながら育てていきたいと思えます。今月は運動会があります。たくさんのおみなさまのご来場をぜひ、お待ちしております。

10月の行事予定

運動会

幼児お楽しみ会（3～5歳）

芋掘り遠足（4・5歳）

身体計測 避難訓練

11月の行事予定

芋汁会（3～5歳）

交通安全教室（5歳）

身体計測 避難訓練

アンバサダーがいっぱい

～子どもたちが園の顔～



2階のフリースペースに突然現れた来客に、遊んでいた手を止めて集まってくる子どもたちがいます。入園希望で見学に来た妊婦さんの大きなおなかに気づいて、そっと手を当て「赤ちゃんいるの？」と聞いています。「そうなの。保育園楽しい？」と尋ねられ、「楽しいよ。ゼーンぶ使っていいんだよ」得意そうに制作中の作品を紹介し、「完成したらまた見に来て！」とうれしい言葉をかけてくれました。抱っこされている赤ちゃんを見つけて「保育園入るの？かわいい」と優しく握手をしてくれる子もいます。玄関ホールで遊んでいた1歳児クラスの子どもたちは“お客さん”を意識してなのか、張り切って斜面を歩いたり、にっこり笑顔で引き玩具を見せに来てくれます。「かわいい」「こんな風に遊ぶのですね」と子どもたちの自然な関わりで見学に来た親子も自然に笑顔になります。「園のアピールポイントはどこですか」と聞かれると迷わず、『遊ぶのが大好きな子どもたちです』と答えています。これからも子どもたちの姿を見てもらい、八雲保育園の魅力を伝えていきたいと思えます。

副園長の日常より

めだか組（0歳児クラス）

ホールで布貼りした段ボールでの遊びを楽しんでいます。好きな箱を選ぶと縁に手をかけて片足ずつ上げてバランスを取りながら跨いで中に入っていきます。「上手に入れたね」と保育士が拍手をすると嬉しそうに一緒に手を叩き喜んでいます。出る時には床に手をつけて這って出してみたり立ち上がって跨いで出してみたりと、子どもなりに“これはできるかな”と考えて試しながら楽しんでいます。箱を押して遊ぶのも好きで両手でしっかりと縁を握り、腕や足腰に力を入れながら押し進んでいます。「お出かけいってらっしゃい」と保育士が手を振ると「アー」と笑顔で出かけていきます。曲がり角では箱や体の向きをコントロールしながらの方向転換も上手になってきました。これからも“できた”喜びに共感しながら体を動かす遊びを楽しんでいきたいと思えます。



みて！できたよ！

がんばったら
できるかなあ～

みんなでたくさん遊んで大きくなったよ

よし、やってみよう！

あひる組（1歳児クラス）



巧技台を使った滑り台やよじ登り、一本橋、箱押し、トンネルなど全身を動かして遊んでいます。はじめの頃は保育士の手を握りながら、一緒に一本橋を渡っていました。何回か渡ると今度は保育士の手を握ることなく自分から一本橋へと向かっていき渡っています。「すごいね、渡れたね」と声をかけると満足気な表情で、その後も自分で繰り返し渡ることを楽しんでいました。“やってみたい、でもできるかな”という気持ちをいったりきたりする子どもたちの心の動きに共感し、必要な時は保育士が手を添えながら自分の力を試し、できたという嬉しさや体を動かす面白さを一緒に味わってきたいと思えます。

らっこ組（2歳児クラス）

動物や乗り物になりきって体を動かし、リズム遊びを楽しんでいます。『とんぼ』の曲では、お尻をついて両手両足をあげるポーズに挑戦しています。バランスを取るの難しく、転んだり手足を床につけてしまながらも何度も挑戦し、手足を上げて少しでも止まることができると“できたよ！”と嬉しさでいっぱい表情で保育士の方に顔を向けています。「すごいね！」と保育士が笑顔を返すと、子どもたちも満足そうに笑って立ち上がり、次の動きも張りきってやってみました。これからも一緒に遊びながら子どもたちの挑戦する気持ちやできた嬉しさに共感し、体を動かして遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきます。

